

2009年8月18日

# Zenken通信 (vol. 58)

## ▽ 今回のお届け情報

---

Title: 北海道建設業協会「民主党に公開質問状を提出」

---

### Outline

添付資料P1～3

○北海道建設業協会ら建設業関連6団体は17日、民主党北海道総支部連合会に公開質問状を提出した。

《北海道建設業協会提供》

担 当 : 事業企画課 林

---

## 道建協会長が 民主と会談へ

事業削減など見解要求

北海道建設業協会 長が17日午後、札幌市（札幌）の岩田圭剛会

中央区の民主党北海道支部を訪れ、同党の衆院選マニフェスト（政権公約）について質問状を提出し、鉢呂吉雄代表と意見交換する。自民党の支持母体である道建協の会長が、民主党北海道代表と個別に会談するのは異例。衆院選公示を18日に控え、同党関係者には「政権交代後をにらんだ動きでは」との憶測も広が

っている。

道建協からは岩田会

長のほか、役員と関連団体の幹部らが出席。

民主党のマニフェストに盛り込んだ公共事業の削減方針のほか、整

備新幹線の札幌延伸の是非などについて、鉢

呂代表に具体的な見解を求めた見通し。

道建協は、民主党側の回答内容を傘下団体

を通じ、道内の建設業者らに報告する考えだ。

民主党のマニフェ

ストをめくっては、J-Aグループ北海道が日米

自由貿易協定（FTA）の締結方針を盛り込ん

だことに抗議し、撤回を要求した。

これに対し、道建協幹部は「抗議ではなく、

マニフェストの中身にわからない点があるの

で、説明を聞きたい」ということだ」と話して

## 道建協会長 民主道代表と会談

公共事業削減など質問

北海道建設業協会 北海道代表と個別に会談（道建協、札幌）の岩田圭剛会長は17日、民

主党北海道の鉢呂吉雄代表と札幌市内で会談し、同党の衆院選マニ

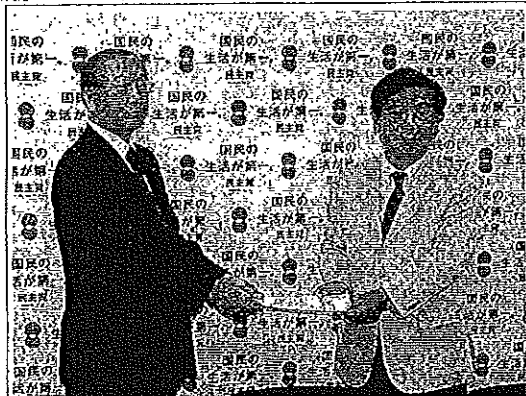
フェスト（政権公約）に盛り込まれた公共事業の削減方針などにつ

いて、7項目の公開質問状を提出した。自民

党の支持母体である道建協の会長が、民主党北

海道支部を訪れ、同党の衆院選マニフェスト（政権公約）に盛り込まれた公共事業の削減方針などにつ

いて、7項目の公開質問状を提出した。自民党の支持母体である道建協の会長が、民主党北



民主党北海道の鉢呂吉雄代表に対し、公開質問状を手渡す北海道建設業協会の岩田圭剛会長。（左）

正式回答する。

会談後、岩田会長は

「自民党支持は変わらない」とした上で、「わ

れわれ建設業界の要望に込める政策をとって

くれるかが重要だ」と

強調。鉢呂代表は「政

権交代を想定されて来

たのだと思う。建設業

の皆さんが不安に思わ

ないよう現実的な対応

をしていかなければな

らない」と述べた。

道建協は民主党北海

道からの回答内容を、

政権選挙の判断材料の

一つとして道内建設業

者らに周知する方針

だ。

## 道建協ら6団体

# 公共事業半減の真意は

民主党政権公約に質問状

北海道建設業協会（岩田圭剛会長）や北海道舗装事業協会（中山健三会長）など建設関連6団体は17日、民主党北海道総支部連合会（鉢呂吉雄代表）を訪問し、衆議院選挙マニフェストについて公開質問状を提出した。建設団体側は、熊点となる公共事業の取り扱いを中心に、高速・高規

格道路網の整備、北海道  
新幹線の札幌延伸、北海  
道開発局の存廃問題、中  
小建設会社への支援策な  
ど率直な疑問をぶつけ  
た。

でに文書で回答を寄せるといふ。

質問は、民主党が子ども手当でや農家の所得補償、高速道路の無料化など独自の政策を行う上

「北海道重点政策」に照らし合わせ、高速・高規格道路網の整備方針、ダム建設の必要性、北海道新幹線の札幌延伸など財政負担を絡めて回答を求めている。

建設団体はこのほか、日本砂利協会北海道支部（山田邦道支部長）、日本砕石協会北海道地方本部（岡本繁美本部長）、北海道土木コンクリートブロック協会（本間丈士

で、必要な財源を確保するため公共事業をどう取り扱うのか、について聞いた。

また、北海道開発局の存廃問題や厳しい経営環境下にある中小建設会社への支援、民主党の姿勢について質問している。

会長)、北海道測量設計  
業協会(安田容昌会長)。  
岩田会長は民主党道連  
で鉢呂代表に対して7項  
目で構成する質問状を手  
渡した。同党では20日ま

して国会で成立した大型補正予算の行方や公共事業費を半減する真意を問ひ、配慮を求めている。

また、民主党道連の政策調査委員会がまとめた

会談の中で鉢呂代表は、衆院選での協力を要請。岩田会長は「質問状への回答を見るなどして判断したい」と態度を保留した。

## 公開質問状を提出

民主党マニフェスト等  
道建協など関連6団体

20日までに文書で回答

長）など建設業関連六団体は十七日、民主党北海道総支部連合会に対し、きょう十八日に公示される衆議院選挙のマニフェスト等に関する公開質問状を提出した。北海道新幹線札幌延伸など公共事業に対する姿勢や、開発局の存廃に対する考え方など七項目について質問。同党では、二十日までで文書で回答する予定としている。

北海道地方本部（岡本繁美本部長、（北海道土木コンクリートブロック協会（本間丈士会長、（北海道測量設計業協会（安田容昌会長）。この日、道建協の岩田会長と秋濱副会長、道舗装事業協会の中山会長が民主党北海道総支部連合会を訪れ、鉢呂吉雄代表に公開質問状を手渡した。

質問項目は①本年度補正予算の執行の公共事業削減

共事業に對する黨としての姿勢の七点で、それぞれについての姿勢を明確にするよう求めている。高規格道路については、財源の確保に關する回答も要請。ダム建設に關しては、不必要と考へているダムの名称についても答へを求めた。

中小建設業への対策については、農林業や複社分野など新分野進出をはじめるというソフトランディング対

六団体は道建協、道舗装  
 (岩 田圭剛会長)、(岩 田圭剛会長)、(岩 田圭剛会長)  
 事業協会のほか、(岩 田圭剛会長)、(岩 田圭剛会長)  
 利協会道支部(山田邦道支  
 部長)、(岩 田圭剛会長)、(岩 田圭剛会長)  
 装事業協会(中山健三  
 部長)、(岩 田圭剛会長)、(岩 田圭剛会長)

③高規格道路およびダム建設④北海道新幹線の札幌延伸⑤開発局の存廃⑥中小建設業への具体的な対策の公の考えを質問している。

関係団体  
建設6

## 民主の政権公約に質問状

### 選挙後の勢力変化想定

北海道建設業協会など建設関係6団体が17日、民主党北海道に対し、同党の政権公約(マニフェスト)に対する公開質問状を提出した。自民党支持を表明する同協会が、野党側と接触するのは初めてという。衆院選後の政界勢力の変化を見越した動きと見られる。同協会の岩田圭剛会長が同党事務所を訪れ、公共事業や

北海道新幹線の札幌延伸など7項目についての質問状を鉢呂吉雄代表に直接手渡した。  
この後、両者は非公開で約1時間にわたって意見交換した。会談後、岩田会長は自民党支持の方針に変わりはない点を強調したが、「民主党政権になった場合を想定しての行動か」との報道陣の問いに「全くないとは

言えない」と本音のぞかせた。民主党北海道の佐野法充幹事長は「公示前のタイミングで、実のある意見交換が出来た」と話した。

## 建設関連団体 民主に質問状

### 公共事業めぐり

道建設業協会(岩田圭剛会長)など建設関連団体が17日、民主党北海道にマニフェスト(政権公約)に関する公開質問状を提出し、鉢呂吉雄代表らと意見交換した。質問状では公共事業費削減や道路・ダム建設、北海道新幹線の札幌延伸、北海道開発局の廃止、中小建設業に対する具体策など公共事業に関する民主党の考えをただしている。

岩田会長は「マニフェスト

に道内の建設業に関する記述が少なく、公共事業が減るのではないかと不安や疑問があった」と公開質問の理由を説明。支持政党については「回答内容にもよるが、政権与党支持の立場は変わらない」と話した。

## 民主に公開質問状 公共工事削減など7項目

北海道建設業協会の岩田圭剛会長らは17日、民主党北海道を訪れ、同党の衆院選マニフェスト(政権公約)に関する公開質問状を幹部に手渡した。写真。公約で建設業への言及が少なく、「(政権交代が実現すれば)公共事業が大幅に減らされ



質問状は「道内の公共

事業費削減」や「北海道新幹線札幌延伸」、「北海道開発局の早期廃止」など7項目について、民主党の意向を質問している。同党は週内にも文書で回答する考えだ。  
自民党の公約では建設業向け対策が多く盛り込まれており、岩田会長は「経済対策を評価している」として、衆院選での自民党支持は変えないという。一方、50分の会談後、民主党幹部は「建設業界と初めて政策議論ができ、実りのある意見交換だった」と語った。

■建設業協会が民主に公開質問状 道建設業協会は17日、民主党のマニフェスト(政権

公約)について公開質問状を出した。北海道新幹線の札幌延伸を進めるのかどうか▽公共事業費の削減を進めるのかどうか などの7項目。同党北海道の鉢呂吉雄代表は「政権を担うことになれば、道内のあるべき社会資本整備を協力して進めたい」と述べた。建設業界は自民党の有力な支持基盤。質問状提出の可能性があるが生じていることがある。岩田圭剛会長は記者団に「マニフェストに不安な要素が多く、明確にしておきたい点がある」と話した。